

こちら週プレ理科室 世界ブツ飛び! サイエンス特報

長年の夢が実現!? 「不老不死」の生物に 全人類が大注目!!



週プレモバイルでは
未公開生物UFOなどの
目撃情報やスクリーン写真を
勢揃い中、QRコードから
アクセス!



チカカネ博士

本名:近兼拓史
UFO、ロケット、未確認生物、
未公開科学技術、家電ウラ情報などに
詳しいギリギリ・ジャーナリスト。
阪神ファンの関西人。
北京UFO研究会特別会員

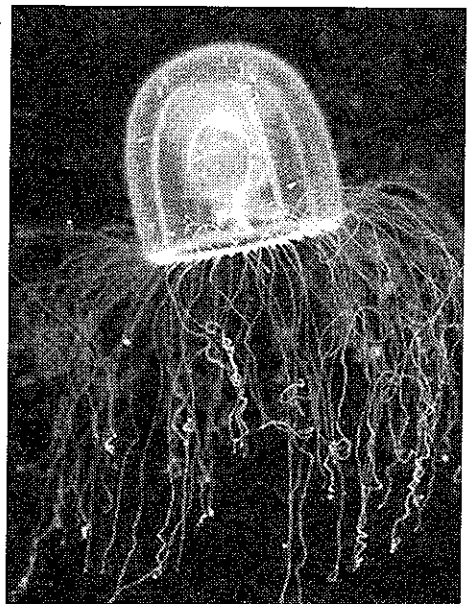
「通常、生物は子孫を残して生命を繋ぎますが、ベニクラゲは自分自身、何度も若返る。老衰寸前の個体が

いに、人類は究極の薬を入手する!? なんと、ある生物のゲノムを解析することで「不老不死」のナゾを読み解ける可能性が高いというのだ。そもそも、老化とは細胞の酸化によって起こるもので、生物が栄養を摂取し呼吸する限り不可避。不老不死は、あらゆる時代の科学者が挑んでは敗れた「神の領域」だが…。現在、その生体が一身に注目を集めているのは「ベニクラゲ」。内臓が赤く透けて見える直径約5mmの小さなクラゲだ。

コトの発端は15年ほど前、ベニクラゲの研究をしていたイタリア・レッツェ大学のポエロ博士が、水槽に入れておいたクラゲの世話を忘れて長期間放置してしまったこと。ヤバイ、こりゃ全滅だ…と水槽をのぞいてみると死体は見あたらず、生まれたばかりのクラゲがそこにいたのだという。そして、この現象の研究を受け継いだ国立海洋研究所のピライノ博士が5年間で4千体のベニクラゲを観察し、すべてが若返ることを確認したというのだ。これは人間でいえば、大往生寸前の老人が赤子に若返り新しい人生を始めるようなもの：うーん、ミステリー!

そこで、今回はベニクラゲ研究の権威、京都大学フィールド科学研究センター瀬戸臨海実験所の久保田信准教授にコトの真相を聞いてみた。孫を残して生命を繋ぎますが、ベニクラゲは自分自身、何度も若返る。老衰寸前の個体が

「通常、生物は子孫を残して生命を繋ぎますが、ベニクラゲは自分自身、何度も若返る。老衰寸前の個体が



日本でも、春先になると北海道から九州の沿岸に出現するベニクラゲ。天敵に捕食されるなどしない限り、何度も若返っては古い…を繰り返す

「通常、生物は子孫を残して生命を繋ぎますが、ベニクラゲは自分自身、何度も若返る。老衰寸前の個体が

「通常、生物は子孫を残して生命を繋ぎますが、ベニクラゲは自分自身、何度も若返る。老衰寸前の個体が